

第二十八回

熊本城（熊本県熊本市）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

熊本市賞

大小の石空堀の炎天に

愛媛県松山市

松長

風来

特選三句

秋深し清正の待つ明日の城

山口県周南市

田村

弘司

もみじがりロープウェイはゆれるかな

熊本県熊本市

宮本

鏡子

復興へ邁進夏の熊本城

長崎県諫早市

橋本

勝也

投句総数

二十九句

開函日

平成二十九年十月三十一日

第二十八回

法隆寺周辺（奈良県斑鳩町）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

奈良・斑鳩町賞

稻雀一羽が誘ふ百羽かな

大阪府堺市

佳山

良子

特選三句

稲筵途切れる処法隆寺

大阪府泉南市

中野

美栄子

秋の空風鐸宙に澄みにけり

大阪府東大阪市

中森

美代子

斑鳩の秋一塔に歩を進め

大阪府相原市

早川

水鳥

投句総数

一八一句

開函日

平成二十九年十月三十一日

第二十八回

博物館明治村（愛知県犬山市）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

子規はいく賞三句

讚美歌の流れるホール秋日射す

愛知県西尾市 倉内 晴代

蜘蛛の巣にとどまる紅き葉の二枚

愛知県豊田市 小原 麻貴

漱石の居間に秋思の灯が点り

兵庫県神戸市 橋本 笙子

特選三句

釣忍揺れる夜風に咳ひとつ

大阪府大阪市 森田 菜々美

野分過ぐ満面の笑み退院す

岐阜県関市 浅野 公夫

十年後の僕への手紙木の実ふる

三重県伊勢市 桜本 純子

投句総数 一〇一句

開函日 平成二十九年十月三十一日

第二十八回

子規庵（東京都台東区）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

特選三句

秋しぐれ獺祭書屋の墨かをる

大分県大分市 山下 かず子

左手の手形を展示子規祀る

埼玉県狭山市 古谷 彰宏

昼飯は子規が好みの新豆腐

山形県山形市 鈴木 周子

投句総数

一〇二句

開函日 平成二十九年十月三十一日

第二十八回

記念艦「三笠」(神奈川県横須賀市)

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

特選三句

秋の風かすかに感ず司令塔

京都府南丹市 辰巳 佳音

赤トンボ横須賀の空平和なる

東京都大田区 亀谷 藍

父発ちし横須賀港の秋の雨

愛知県豊橋市 野口 恵美子

投句総数

十句

開函日 平成二十九年十月三十一日

第二十八回

大和ミュージアム（広島県呉市）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

特選三句

建造船大きく見ゆる天高し

山形県山形市

伊藤

ふみ

日の意志の強き夏風吹きにけり

埼玉県さいたま市

山崎

太一

海底の船の残骸揺らぐ夏

広島県広島市

多久美

最澄

投句総数

六十六句

開函日

平成二十九年十月三十一日

第二十八回

歴史博物館・漱石公園（東京都新宿区）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

特選三句

語り継ぐ子規の大喰ひ天高し

東京都新宿区

羽生

広

猫塚の石の曲がりて秋暑し

群馬県高崎市

瀬山

善郎

漱石の息づかひ読む秋ひと日

神奈川県秦野市

遠藤

こと子

投句総数

一三二句

開函日

平成二十九年十月三十一日



第二十八回

鶴ヶ城（福島県会津若松市）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

特選三句

城垣の隙間に匂ふ銀杏の実

石川県金沢市 小堀 綾子

夏の城お堀に亀も泳いでる

新潟県新発田市 武内 遙

石垣の砲弾あとにすむ蛙

福島県会津若松市 鈴木 心渚

投句総数 七句

開函日 平成二十九年十月三十一日

第二十八回

東松山市（埼玉県東松山市）

「愛媛若葉」 主宰 高岡 周子 選

特選三句

点を打つ間合絶妙きりぎりす

埼玉県比企郡吉見町 大橋 博明

放牧の牛の齧む蝶の昼

埼玉県比企郡小川町 藤間 友二

鬼やんま思惟するごとく首傾げ

埼玉県東松山市 大井 正行

投句総数 三一句

開函日 平成二十九年十月三十一日

第二十八回

羽二重団子本店（東京都荒川区）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

俳句のまちあらかわ賞

馴染まねばならぬ同居の障子貼る

東京都荒川区 高安 政江

特選三句

ひと仕事終えて乾杯今日の月

東京都荒川区 谷井 千絵

長き夜のぼんやり漏るる読書の灯

東京都足立区 佐藤 泰祥

指に触れ何とはなしに酸橘買ふ

東京都荒川区 町田 美幸

投句総数

二二句

開函日 平成二十九年十月三十一日